

令和元年度 各部・年次等の目標と実践項目

【評価】 4:よくできた 3:できた 2:あまりできなかった 1:できなかった

部署	主な業務	本年度の目標	目標達成に向けた実践項目	番号	数値目標	中間評価(各部署内)		年度末評価					次年度に向けて	学校評議員より
						評価	改善に向けて	全体	部署内	4	3	2		
総務 国際	行事検討 防災 校内美化・整備 「入学のしおり」作成	学校内外の教育環境の整備	1 行事の抜本的な見直し	T	各学期1回+2回	/	2学期に実施予定	2.8	3.5	7	17	10	3	目標に向けた具体的な取り組みができた。まだ課題は多いが、充実した取り組みができたことは次年度にも生かしたい。特に状況に応じた柔軟な行事計画や活動で学校全体の活性化につなげたい。 ・地震等災害発生時の対応力向上のため、さらなる展開を期待する。 ・STEAM兵庫型のより一層の学びの深まりをさせてほしい。 ・本校の卒業生は信頼できる成人になっており、楽しみである。
			2 緊急時に主体的に行動できる生徒の育成	P	年1回以上実施	/	2学期に実施予定	3.6	3.8	26	16	0	0	
	さまざまな場を通じた異文化理解	3 西オーストラリア大学短期語学研修への参加を促すとともに留学生の受け入れを奨励する	G	研修参加生徒5名	/	2・3学期に実施予定	2.9	3.5	9	18	8	2		
		4 研修を受けた生徒や留学生による報告会の実施	G	1年次生・2年次生対象に実施	/	2学期に実施予定	3.5	4.0	20	17	0	1		
教務	教育課程編成 生徒の学力向上 教員の指導力向上 成績処理システム運用 「シラバス」作成	授業改善	1 授業アンケート結果の活用と授業の改善	S	年2回実施 生徒の80%以上が授業に満足	/	授業アンケート(1回目)の実施結果を受けた1学期授業の振り返りと2学期授業の改善検討	3.2	3.5	11	23	3	1	授業アンケートでは各教科とも2回目に評価の向上が見られ、授業改善に利用されたものと考えている。公開授業の見学実績は延べ102講座で、よい刺激となり授業を振り返るきっかけとなったものと考えている。 ・現代の基礎・基本学力への取組として、好ましい結果に結びついていると考えている。
			2 授業の相互公開による工夫の共有(通年実施)	S	授業改善をおこなった教員が80%以上	/	公開授業週間の実施意見・感想の交換	3.2	3.5	10	23	6	1	
保健・生徒指導	生活指導・交通安全指導 「くすのき」での周知 いじめ防止・対応 生徒会活動の充実 部活動活性化	基本的な生活習慣の確立と生徒の自主・自立・自律の精神を育む取り組み	1 年6回の交通安全指導を実施し、生徒の規範及び命を守る意識の向上を図るとともに保護者及び地域住民と連携をとり適切に対応	P	登下校中の事故を0件	3.5	2・3学期も継続	3.1	3.6	11	20	8	2	日々の教育活動を充実させるため、様々な問題について教職員間の意思疎通を図り、生徒・保護者より信頼される指導を心がける。健康相談の充実や感染症に対する予防指導、衛生環境の整備をする。
			2 年11回の全校生へのアンケートや生活実態調査を通じ、適切な「いじめ」への対応ができる学校環境をつくり、また生徒への援助希求的態度の育成を図る	L	いじめ件数0件 教員研修会2回	3.5	2・3学期も継続	3.0	3.6	11	24	4	3	
			3 ふるさと貢献・活性化事業を通じて地域に貢献できる生徒を育成する	L	地域への生徒の参加3回以上	3.5	2・3学期も継続	2.8	3.4	7	16	10	3	
	生徒の健康管理と教育相談の充実	4 健康相談の充実をはかり、保健室利用者に対して応急処置や指導を行う	L		3.5	2・3学期も継続	3.3	3.9	16	15	4	0		
		5 キャンパスカウンセラーとの連携を密にし、カウンセリングマインドに関する職員に対する研修会を実施する	T	年2回	3.5	2学期も継続	3.5	3.9	20	19	0	0		
ガイダンス	進路情報提供 進路研修(教員) 進路講演会等運営 社会人基礎力育成 「進路通信」発行 「ガイダンスブック」発行	年次団と連携した進路実現のための効果的な進路指導体制の確立	1 3年次生徒に対する、現行入試への不安や焦りのコントロールと目標を明確にさせる検討会の実施	M	年5回	/	7月・9月・10月・12月実施予定	3.4	3.8	16	22	1	0	「入試制度改革」に対して、「Class」等を有効に活用して、最新の情報をスピーディーに生徒・保護者に提供し、その不安を解消していく。 また、これから求められる「主体性」「多様性」「協働性」をいかに育むか考察していく。
			2 高大接続改革をふまえた体制作りのため研修会や入試問題の分析会の実施	T	年2回	/	11月研修会実施予定 分析会は2月新テスト模試後	3.3	3.7	16	19	5	0	
			3 進路通信を発行し、生徒・保護者への情報提供や進路意識の向上に努めるとともに、高校生就労体験事業を通じて社会人としての資質・能力を育成する	L	進路通信:年10回 就労体験事業:生徒の満足度80%以上	/	進路通信は毎月発行(4号) 就労体験は夏期休暇中に実施	3.7	3.8	25	14	1	0	

「番号」(S~T)の学校経営方針とその内容

S 「確かな学力」を身につけ、「夢」の実現に挑戦するための「学び」の場の構築

- ・「知識・技能」の確実な習得と活用を目指したわかる授業づくり
- ・自ら立てた問いを解決できる「思考力・判断力・表現力」を育成する授業づくり
- ・多様な人々と「協働して主体的に学びに向かう態度」を涵養するための授業づくり
- ・高大接続改革を踏まえた入試問題等の分析とそれに対応した学習体制づくり
- ・情報収集力や感性を養うための読書活動を支える学校図書館の活性化

M：変化の激しい社会の中で、自立して逞しく生きる意欲を持った人材の育成

- ・将来の生き方や働き方を職場体験活動・大学研究等を通じて見つめるキャリア教育の推進
- ・社会人として職場や地域社会で多様な人々と関わって生きていく力の育成
- ・政治的教養を高め、社会に主体的に関わろうとする態度の育成
- ・生徒会活動やボランティア活動を通じた地域や社会に貢献しようとする意識の涵養

G：地球的視野で思考・判断し、世界に雄飛する人材の育成

- ・留学生の招致や生徒の海外留学を通じた異文化理解・日本文化の紹介
- ・国際感覚を備えた人材の育成を目指したオーストラリア短期語学研修の実施

P：思いやりの心と規範意識を持ち、共生社会の実現を目指す人間性豊かな人材の育成

- ・挨拶や身だしなみ、時間厳守等、社会のマナーやルールを尊重する態度の育成
- ・自己をかけたがえのない価値ある存在として受け止める自尊感情の涵養
- ・他者の人権を尊重し、異なる価値観や生き方を理解しようとする態度の涵養
- ・自らの命を守り、緊急時に主体的に行動できる人材の育成

L：地域と連携した安心・安全な学校づくりと学校評価の推進

- ・家庭・地域・中学校等への積極的な情報発信と、学校全体による情報の共有
- ・PTA・同窓会・地域と連携した教育活動の展開
- ・すべての生徒が安心して通える教育環境づくり
- ・学校評価の検証と学校改善

T：教職員の資質向上

- ・計画的な職員研修の実施
- ・部・委員会・学年及び各教科の目標とその成果と課題の明確化
- ・心身の健康と適正な勤務時間の維持

【評価】 4:よくできた 3:できた 2:あまりできなかった 1:できなかった

部署	主な業務	本年度の目標	目標達成に向けた実践項目	番号	数値目標	中間評価(各部署長)		年度末評価					次年度に向けて	学校評議員より	
						評価	改善に向けて	全体	部署内	4	3	2			1
図書人権	蔵書の整理・拡充 朗読会等行事企画・運営 「学校図書館だより (NORTHLIBRARY)」発行 読書感想文コンクールへの出品 市の図書館との連携	図書委員会を活性化し、開かれた図書館となることで読書活動を推進する	1 図書委員会を中心に、朗読会やビブリオバトル校内大会を実施し、生徒の読書活動を推進する	S	朗読会:1回 ビブリオバトル:4回	3.0	図書委員の参加だけではなく、もっと多くの生徒が親しめるビブリオバトルになるための方法2学期も継続	3.7	4.0	27	10	0	0	・生徒主体の活動を目指した中で、図書室行事への興味・関心が増えてきたように思う。来年度さらに多くの生徒が活用したい図書室作りを目指す。 ・職員対象の人権研修会または講演会などを企画することにより、様々な分野における人権意識の向上を図りたい。	
			2 「NORTHLIBRARY」や「新刊図書案内」をHPに載せ、本のPOPを作る等、図書館を魅力的に宣伝する	S	貸出数 昨年度20%増	4.0	4・5・6月432冊、昨年度同時期338冊27%増	3.7	3.0	22	13	2	0		
	豊かな人間性を育てる	3 人権HRや人権映画会・人権講演会の内容を充実させ、計画的に実施	P	人権HR:年2回 人権講演会:1回	4.0	3年次生HR実施、その他2学期実施予定	3.4	4.0	17	18	3	0			
		4 全教員対象に人権教育群研修会及び職員研修会を実施する	T	年各1回		2学期に実施予定	3.3	2.0	14	16	7	0			
募集広報	オープンスクール、オープン・ハイスクール運営 学校説明会訪問 「学校案内」作成 「加古北タイムス」発行 学校HP刷新	募集活動と広報活動の充実を図り、受験者数のアップと学校の魅力作りを図る	1 積極的な学校説明会(塾・予備校含む)への参加	L	年間18回以上	3.0	2学期も継続	3.3	3.3	13	15	3	0	・実態が評価に結びついていないのではないかと。 ・進学実績を上げる努力を求め。 ・他学区の単位制高校などを研究してはどうか。	
			2 「加古北タイムス」の発行 学校HPのリアルタイムな更新	L	年間12回以上 年間220回以上	3.0	2学期も継続	3.5	4.0	18	15	2	0		
			3 インスパイアハイスクール事業を通じて、輝く未来を生きる生徒の育成を図る本校の魅力づくりを推進する	L	外部講師を年1回以上招く		2学期に実施予定	3.4	3.3	16	18	2	0		
1年次	学習・進路 予習・復習徹底 週末課題・小テスト実施 進路情報提供 面談(二者・三者)	「夢」を描き、その実現に挑戦するための「確かな学力」を身につける	1 職業・大学研究等を通じて進路目標を持つ	M	7割以上達成	3.0	2学期も継続	3.3	3.2	8	17	0	0	・L.H.R.や年次集会を活用して進路目標を具体的に設定することで、自ら求めて学ぶ姿勢を身につけさせたい。 ・S.H.R.開始前の5分間を有効に利用することによって、基礎学力の定着を図るとともに遅刻の減少に役立てたい。 ・さまざまな学校行事を通して、かけがえのない人間関係をつくらせたい。	
			2 Classiを利用して日々の学習時間を記録する	S	9割以上記録	2.0	調査1週間前にはSHRテストを実施せずに学習記録をつける	2.8	2.4	5	10	9	1		
			3 SHRを有効に活用し、確かな学力の習得を図る	S	週3回以上	4.0	2学期も継続	3.5	3.6	9	14	3	0		
	生活等	思いやりの心と規範意識を持つ人間性豊かな人材の育成	4 挨拶や身だしなみ、時間厳守等、マナーやルールを尊重するよう、年次集会で促す	P	学期に1回以上実施	3.0	2学期も継続	3.2	3.3	10	15	3	1		
			5 自尊感情を涵養し、他者の人権を尊重する態度を育成するLHRを実施する	M	冊子「高校生」を2回以上使用		2学期に使用予定	3.5	3.6	9	16	0	0		
2年次	学習・進路 予習・復習徹底 週末課題・小テスト実施 朝読書 面談(二者・三者) 模試解き直し・振り返り	気づいたことや学んだことを行動に移し、将来のイメージをより具体的に描けるようにする	1 小テストを通して、基礎学力の定着を図る	S	全員合格	2.0	2学期も継続	3.2	3.3	6	20	0	0	・SNSの世界で人とのつながりを確認するのではなく、学校行事はもちろんのこと、年次行事やクラスレクなどを通して、つながりや魅力を感じ、癒される中で、鋭気を養い、取り組むべきことや朝読書での自らの気づきに、全力で取り組めるような生徒が多い年次にしていきたい。	
			2 週末課題への取り組みについて、中身のあたる課題を期限厳守で提出する	S	未提出者を限りなく0に近づける	3.0	2学期も継続	3.2	2.6	3	17	4	0		
			3 朝読書を実施し、気づきを行動に移せるように働きかける	P	毎週1回年25回	3.0	2学期も継続	3.7	3.4	10	13	0	0		
	生活等	ともに励まし支え合い、よりよい人間関係をつくらせる	4 スマートフォン利用実態調査を継続的にを行い、家庭での利用状況を見つめさせ、考えさせる	P	年3回実施	3.0	2学期も継続	3.0	3.1	3	16	3	0		
			5 中堅学年としての自覚を持ち、学校行事や部活動、生徒会活動に積極的に参加できる生徒を育てる	M	生徒会執行部に12名以上	4.0	18名が生徒会執行部役員に名乗りを上げ、違った一面を見せつつ取り組んだ	3.4	3.3	9	15	0	0		

3 年 次	学 習 ・ 進 路	予習・復習徹底 週末課題・小テスト実施 進路情報提供 面談(二者・三者)	進路実現に向けた学 力の向上と進路選択 の支援	1	授業での集中力を高め、学びを充実させる ために小テストを実施する	S	入試に関わる教科 で小テストの実施: 各20回以上	2.0	2学期も継続	3.4	3.4	10	14	1	0	加古川北高校に入学してき た生徒のニーズにあった進 路指導が必要な時期にきて いる。大学独自の対策など 教員の側の研究も必要であ る。北校の魅力を発信して いくべきである。	
				2	補習等に積極的に参加し、進路実現に必要 な学力の獲得	S	補習を年間6回実 施	3.0	2学期も継続	3.6	3.6	15	11	0	0		
				3	進路HR、面談等を通し、進路の明確化、進 路実現の達成	M	面談を年間5回実 施	3.0	2学期も継続	3.5	3.5	12	13	0	0		
	生 活 等	基本的な生活習慣確立 面談(二者・三者) いじめ防止・対応 行事・部活動活性化	互いを認め合い、高 め合い最後まで頑張 れる集団の育成	4	生活三原則(挨拶励行、時間厳守、掃除徹 底)の徹底	P	年次集会等で講話 3回以上	3.0	2学期も継続	3.4	3.5	11	11	1	0		
				5	年次通信や年次メールで保護者との連絡を 密にする	L	通信月1回、メール 月2回	3.0	2学期も継続	3.7	3.7	14	12	0	0		
事 務 室	電話・来客等の対応 事務等の事務処理 予算の管理・執行 施設、物品等の維持管理	相手の立場に立った 対応や経費節減に努 め、適切な物品・施 設管理を行う	1	受付窓口、電話での迅速で気持ちの良い応 対	L	電話口3コールま での対応	3.0	2学期も継続して取り組む	3.6	3.5	16	12	0	0	引き続き、より良い接遇、光 熱水費の適切な節減を行っ ていく。特に危険個所の把 握と対応には重点を置いて いきたい。		
			2	光熱水費の適切な節減	L	デマンド数値90kW 以下	3.0	2学期も継続して取り組む	3.4	3.5	14	12	0	1			
			3	敷地内の危険箇所等の把握と迅速な対応	L		3.0	2学期も継続して取り組む	3.3	2.5	10	17	2	0			